

資料

部落解放研究関係文献目録

(一九七九年十月～十二月)

【現状】

- マーン・金子「被差別部落における労働者の状態」
- (「部落解放研究」一九号、10月)
- 伊東弘文「北九州における被差別部落の家計と労働(下)」
- (「部落解放史ふくおか」一七号、11月)
- 河野通博「部落の現状把握と行政研究の成果と課題」
- (「部落問題研究」六二号、12月)
- 谷村能男「大学生の同和問題意識」
- (「神学と人文」大阪基督教短期大学紀要一九号、12月)
- 大阪市・大阪市同和对策推進協議会「大阪市民の「同和問題」に関する意識調査報告書(資料編)」(同上、12月)
- 大阪市・大阪市同和对策推進協議会「大阪市民の「同和問題」に関する意識調査報告書(分析編)」(同上、12月)
- 東京都産業労働会館業務課「かわとはきもの」№30(同上、12月)
- 新市町同和地区実態調査団「部落の実態調査報告書」
- (新市町、1979年4月)

【行政】

- (資料)「全日本同和对策協議会専門部会調査研究報告書—同和行政に関する基本的事項について」
- (「部落解放」一四〇号、10月)
- 部落解放研究所行財政部会事務局「全日本同和对策協議会専門部会報告を読んで」(同右)
- 石川元也「窓口一本化」行政の不正に審判—大阪高裁判決の意義」(「議会と自治体」二五二号、10月)
- 京都市民生局同和对策室「京都市における同和行政の概要(昭和54年度)」(同上、10月)
- 京都市民生局同和对策室「京都市における同和行政の概要(昭和54年度)—資料編」(同上、10月)
- (資料)総理府「同和問題の現状と対策」
- (「人権通信」八一号、10・11月)
- ▲特集「同和行政をめぐって(その二)」
- (「部落」三八五号、11月)
- 東上高志「同和行政の新段階—合同対専門部会報告の紹介と

解説

池田孝雄「和歌山県同和行政のあゆみ」ほか

中原 一「浪速」窓ロ一本化」訴訟—大阪高裁で逆転判決」

(『月刊部落問題』三六号、11月)

▲特集▼「同和行政をめぐる(その三)・隣保館」

(『部落』三八六号、12月)

東上高志「新しい隣保館像のために」

山本敏貢「隣保館事業の歩み」

豊田慶治「隣保館はいま—京都市の事業変遷にみる」

編集部「隣保館事業はわが生涯のしごと—全隣協会長・上田音市氏に聞く」

(資料)「同和对策対象地域における隣保館の運営について」

佐藤圭二「新しい町づくりレポート・王子地区改良事業の経過—

その一」(『月刊部落問題』三七号、12月)

星野広美「本宮町の『昔』部落移転事業について」(同右)

横山和夫「上池地区における住宅改良事業の一事例(上)—改良

住宅よりも一戸建の家を」(同右)

新市町「新市町同和地区実態調査にもとづく行政施策の方向」

(同上、1979年5月)

【運動】

沼田稻次郎「国際人権規約と労働者権」

(『部落解放研究』一九号、10月)

銭本三千年「主流化」政策にみるアメリカの障害者雇用対策」

(同右)

国際人権規約批准促進大阪府民会議事務局「国際人権規約批准記

念大阪府民集会開かれる」(同右)

西岡智ほか「全国行進隊と八月狭山同盟登校のたたかい—(座談

会)自力自闘のたたかいを」(『部落解放』一四〇号、10月)

平垣美代司「部落解放共闘、当面の問題点」(同右)

鶴嶋雪嶺「アメリカ便り—逆差別論に敗訴の判決」(同右)

野間 宏「狭山裁判(第四六回)—検察官調査」

(『世界』四〇七号、10月)

西村 猛「無法と暴力」ついに旗をまく—全日本同和会暴力派

とのたたかい(長崎県平戸市)」(同右)

日本共産党「日本共産党と同和問題」(新日本文庫87)

(新日本出版社、10月)

狭山中央闘争委員会「起ち上がれ子どもたち」

(『狭山差別裁判七一号』(同上、10月)

狭山事件の再審を求める大学人の集い実行委員会「狭山事件の再

審を求める大学人の集い」(同上、10月)

針生 一郎・日高六郎・山上益朗ほか「狭山裁判の徹夜ティーチ

イン—日付問題は石川無実の決定的証拠だ」

(『部落解放』一四二号、11月)

北上秀樹「愛媛、燃える解放の火—八幡浜支部、会館運営のたた

かい」(同右)

編集部「人権侵害は『われわれの職業』—調査関係者が語った

身元調べの内側」(同右)

友永健三「(海外レポート)先進国における差別の実態—アメリ

カ・イギリス編」(同右)

大塚喜一「すべてのデッチ上げを許さない連続講演会第五回—捜

査に先行して『犯罪』をデッチあげたマスコミ—千葉大チフス

事件」(同右)

上田卓三・西岡智・卒田正直ほか「部落の経済と政治—た十年—

大阪同和金融公社の歩みと今後」(同右)

編集部「差別の水害に刻った部落・広島県三次」(同右)

奥名文久「(図書紹介)解放新聞大阪支局編『みんながたつくる』」

(『解放教育』一一五号、11月)

野間 宏「狭山裁判(第四七回)—再審開始を求める」

(『世界』四〇八号、11月)

高杉晋吾「反差別人民共闘の現在の地平—被差別から反差別へ・

労農水三角同盟の現代的復権の根拠を問う」

(『流動』一一巻一一号、11月)

野間 宏「狭山闘争の現状と今後の視点」

(『労働情報』五六号、11月)

部落解放同盟中央本部教宣部「部落解放第三期中央解放学校テキ

スト」(同上、11月)

解放新聞社編「解放新聞索引」(縮刷版第一巻—第七巻)

(同上、11月)

狭山中央闘争委員会「検察官意見書の正体を暴く」

(『狭山差別裁判七二号』(同上、11月)

松本健男「私立高校生超過学費返還請求訴訟の提起するもの」

(『部落解放研究』二〇号、12月)

横山利秋「司法の反動に立ちむかう」(同右)

井上英昭「刑事再審の動向と狭山再審請求の現状」(同右)

柴山恵美子「労働基準法改悪は差別の再生産、再編成」(同右)

BURAKU LIBERATION LEAGUE "ISHIKAWA is INN-

OGENTI-SAYAMA CASE" (同右)

▲部落差別と医療問題▼(『部落解放』一四二号、12月)

編集部「部落の医療の現状を考える」

部落解放同盟岡山県連宿毛支部「解放同盟立」診療所を勝

つとめるためのたたかい」

編集部「大阪の芦原病院、草創のころ」

上杉佐一郎「(荆冠旗)勤労大衆との結合なくして勝利はありえ

ない—部落解放運動八〇年代への課題」(同右)

部落解放同盟中央狭山闘争本部事務局「検察官追加意見書を批判

する」(同右)

中山武敏「検察官意見書に対する反論」(同右)

山下 力「日共」の差別キャンペーンと奈良県大淀町の非民主

的な土壌」(同右)

友永健三「(海外レポート)『先進国』における差別の実態—

ヨーロッパ編」(同右)

土口哲光「曹洞宗町田宗務総長差別発言は全仏教会の体質か」

(同右)

▲特集▼「東日本の部落解放運動」—各都県連運動資料集」

(『東京部落解放研究』二〇号、12月)

- 第33回部落解放同盟群馬県連大会議案書
 第32回部落解放同盟長野県連大会議案書
 第27回部落解放同盟埼玉県連大会議案書
 第19回部落解放同盟東京都連大会議案書
 第7回部落解放同盟栃木県連大会議案書
 第6回部落解放同盟神奈川県連大会議案書
 第3回部落解放同盟千葉県連大会議案書
 第3回部落解放同盟茨城県連大会議案書

守井雄一郎「矢田民事判決の意義」(『部落』三八六号、12月)
 野間 宏「狭山裁判(第四八号)―檢察意見書反論」
 (『世界』四〇九号、12月)
 日方ヒロコ「岡田一さんの闘い(その4)」
 (『原詩人』一五号、12月)

無実の石川一雄さんとりもどそう狭山市民の会編『狭山事件・
 現地からの報告』(たいまつ新書63)(たいまつ社、12月)
 狭山中央闘争委員会「狭山思想の実現をめざして」
 (『狭山差別裁判七三号』(同上、12月))

部落解放研究所「第四回部落解放西日本講座講演集」
 (同上、12月)

国際人権規約大阪府民会議「国際人権規約の即時具体化・完全批准のために」(6・14国際人権規約批准記念大阪府民集会報告書)(同上、12月)

部落解放同盟中央本部「世界宗教者平和会議における差別発言に
 ついての見解」(解放出版社、12月)

(『解放新聞』九三三号、1979年9月)

【解放教育】

▲特集▼「激動する福岡の教育運動」

(『解放教育』一一四号、10月)

柴田啓蔵ほか「福岡にかけるもの」

重森宗年ほか「識字運動は何を総括すべきか」

中西績介「この現実を国会に―私の国会活動の記録として」

(同右)

小森竜邦「教育の再生の方向と主任制闘争―校務分掌の問題など」

(同右)

鈴木祥蔵「当面している教育と政治の問題は何か」(同右)

中野陸夫「『財政危機』と教育問題」(同右)

▲特集▼「親と教師」(『月刊どの子も伸びる』二九号、10月)

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年―米田貞一郎と全同教事務局の確立」(同右)

三枝正雄「日民活動における同和教育の課題―二学年、スライド学習を試みて」(『月刊部落問題』三五号、10月)

渡辺久丸「杉尾論文、同和教育論の今日的争点―東上・西氏への
 所論批判―」への一、二の疑問」(同右)

▲特集▼「親の生活と子どもの人権」(『はらっば』九号、10月)
 石光、小林、幸町保育所「厳しい生活破壊の中で子どもたち
 はしほか」

▲第二回夏期合宿研究会分科会報告▼(同右)

狭山中央闘争委員会「打ち砕け！ 檢察官の黒い意図」
 (『狭山差別裁判臨時増刊号』(同上、4月))
 全国部落解放運動連合会「全解連第八回大会決定集」
 (同上、1979年5月)

【理論】

研究所研究部事務局「第一回全国部落解放研究者研究会を終えて」(『部落解放研究』一九号、10月)

編集部「部落解放研究関係文献目録」(同右)

馬原鉄男「(動向)研究・八〇年代に向けての部落問題研究の方向と課題―第十七回部落問題研究者全国集會にあたって」

(『部落』三八四号、10月)

秋定嘉和「第一回部落解放研究会での報告を反省して」

(『解放新聞』九三九号、10月)

沖浦和光「部落解放理論における人階級と人身分の問題(上)」

(下)(『解放新聞』九四四号、11月・九四八号、12月)

編集部「部落解放研究関係文献目録」

(『部落解放研究』二〇号、12月)

鈴木 良「部落解放研究」総目次」(同右)

鈴木 良「地域支配と部落問題―その歴史的諸段階」

(『部落問題研究』六二号、12月)

師岡佑行「今日における部落差別についての理論的状況(1)(2)」

(『解放新聞』九二六号、1979年7月、九三一号、8月)

大賀正行「部落解放理論の正しい方法的視点のために」

堀井二実「同和保育入門④―母体内から差別にさらされている子どもたち」(同右)

八木晃介「教育における『差別』と『管理』」

(『新日本文学』三八六号、10月)

全国解放教育研究会編「部落問題概論」(学術図書出版社、10月)

▲特集▼「親の重荷を担ぎすぎる子どもたち―第九回全国解放教育
 研究会より」(『解放教育』一一五号、11月)

奈良解放研事務局「どこまできているのか」

蔵本穂積「子どもがいる親がいる―第九回全国解放教育研究
 集會を終えて」ほか

松井ツルニほか「識字運動は何を総括すべきか」(下)(同右)

福地幸造「残視周辺―生徒の通信欄から(2)」(同右)

福井康人「(『にんげん』実践)『七分の一のいのち』―版画製
 作をおして」(同右)

吉岡教子「(『にんげん』実践)『力をあわせて』―S君とともに」

(同右)

西口敏夫「(図書紹介)東京都同和教育研究協議会編『教育の型をききとむ』」(同右)

村上博光「(動向)教育・同和教育の現況と課題」

(『部落』三八五号、11月)

▲特集▼「テレビと子ども」

(『月刊どの子も伸びる』三〇号、11月)

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年―相馬利雄と京都の社会同
 和教育」(同右)

(同右)

村上博光「第十八回教育科学研究会全国大会交流懇談会報告」(7)同和教育」(「教育」三七八号、11月)

▲特集▼「生活を高め未来を保障する同和教育」

(「埼玉教育」三七二号、11月)

坂田英雄「同和教育における進路指導」

沢井 貞「同和教育の推進」

森住昌夫「道徳教育を核とした同和教育の推進」

松井 隆「同和教育の推進」

大阪同和教育連絡協議会集団専門部会「集団主義保育の実際」

団専門部会の実践報告」(大阪同和教育連絡協議会、11月)

鈴木祥蔵編「言語を育てる」同和「保育の理論と実践」(「同和」

和」保育シリーズI)(大阪同和教育連絡協議会、11月)

部落問題研究所編「戦後同和教育の研究」

(戦後部落問題の研究第五巻)(同上、11月)

西田秀秋「近代民衆の記録」部落民」(新人物往来社、11月)

東 義和「同和教育の歴史と理論の創造」(同上、11月)

高美中学校部落解放研究会・漫画研究会「伝言」

(八尾市立高美中学校、11月)

玉置哲淳「解放保育のカリキュラムと生活構造」

(「部落解放研究」二〇号、12月)

中野陸夫「中学校における学力保障」(同右)

羽良野市立羽良野中学校・英語科「みんながわかる自主編成の取

組み」原学級保障をめざす」(同右)

大塚忠広「高校教育政策と解放教育」(同右)

(「解放運動と同和教育」二二八号、二二九号、12月)

全国同和教育研究協議会「第三一回大会・分科会報告書集」

(同和教育臨時増刊)(同事務局、12月)

福岡県同和教育研究協議会「解放教育への軌跡」福岡県「同和」

教育運動史資料編」(同上、12月)

大阪同和保育連絡協議会「24時間の生活の組織化をめざして」大

阪の同和保育運動10年のあゆみ」(同上、12月)

熊本商科大学・熊本短期大学「部落問題の正しい認識のために」

(同上、12月)

「論」つうしん編集委員会「判学」(「同和」問題論開講5周年

学生記念論文集)(近畿大学工部部部落解放研究会、12月)

東義和ほか「炭鉱閉山と解放(識字)学級運動」福岡県川崎町の

場合」(「大阪教育大学紀要(第四部門)」二七巻三号、197

9年2月)

木山良亮「部落改善と融和教育前史」解放教育運動史研究(その

二)「(「教育学研究紀要」二四号、1979年3月)

高橋吉明ほか「中学校歴史分野における同和視点の分析」

(「姫路市教育研究所研究報告」一一三号、1979年3月)

阿南市中学校同和主事会「阿南市における同和地区学習会参加生

徒の進路の動向とその考察」

(「阿南市教育研究所研究紀要」三八号、1979年3月)

長野県犀峽高等学校「足元の差別を見つめて」

(同上、1979年3月)

大阪府同和教育研究協議会「大阪の進路保障」(進路実態追跡調

▲特集▼「読本」にんげん誕生一〇周年」

(「解放教育」一一六号、12月)

日高六郎「にんげん」この貴重な贈りもの」

園分一太郎「教育制度・行政としての「教科書問題」

川向秀武「にんげん誕生の由来」

山中多美男「指導要領」の闘いから「にんげん」へ」

藤田二郎「解放教育と教科書検定・採択の現状」(同右)

福地幸造「残視周辺」終わりにあたって」(同右)

▲小特集▼「史実と授業の結合をめざして」第四回福岡県部落解

放史研究講座総括」(「部落解放史ふくおか」一八号、12月)

斎藤浩志「同和教育研究の方法論をめぐる基本的課題」

(「部落問題研究」六二号、12月)

▲特集▼「社会科の授業」

(「月刊どの子も伸びる」三二号、12月)

奥西一夫「人権意識の形成と社会科」

栗山 功「学習指導要領の「学力」を批判する」

長田光男「母の働きと家のくらし」

中津里子「地域を歩いて」

八幡佳英「五年生の「公害」学習」

笠間小学校「最も人間らしく生きぬいた皮田百姓の人たちに

学ぶ」波染一揆」

東上高志「物語・戦後同和教育三〇年」福岡弘幸と高知の社会同

和教育」(同右)

小森竜邦「新しい融和主義批判と同和教育」(上)(下)「」

査報告第八集)(同上、1979年3月)

東 義和ほか「川崎町における同和教育の歴史・現状・課題」炭

鉱閉山と解放学級運動(第二報)「

(「大阪教育大学教育研究所報」一四号、1979年5月)

国際児童年を機に子どもの権利を実現する大阪連絡会「いま、子

どもたちは」(同上、1979年6月)

大阪府同和教育研究協議会「大阪の同和教育第八集」79第31回全

国同和教育研究(福岡)大会報告集」(同上、1979年)

大阪府同和教育研究協議会「逃けたら負けや」79第12回研究(泉

北)大会報告書」(同上、1979年)

熊本県同和教育研究協議会「第八回熊本県「同和」教育研究大会

総括集」(同上、1979年)

佐賀県同和教育研究会・佐賀県社会同和教育研究会「第10回佐賀

県「同和」教育研究大会集録」(同上、1979年)

【社会啓発】

▲特集▼「成人の部落問題学習」(「部落」三八四号、10月)

木村光夫「行政対策でない社会同和教育をめざして」

堀田芳雄「差別をなくす松阪市民の会の歩み」

村井逸子「演劇上演運動にとりくんで」

松本栄治「長門市同和教育自主研究会」

東上高志「成人にたいする部落問題学習」

寝屋川市「差別なき社会をめざして」(同上、10月)

▲特集▼「社会同和教育・市民啓発」

- (『部落問題論究』四号、11月)
長谷川善計「封建的身分制度と部落差別—社会同和教育の立場から」
- 杉尾敏明「社会同和教育研究の課題と視点」
村上博光「戦後社会同和教育の理念と課題」
- (資料)「神戸市同和教育市民啓発に関する意見」
太田善照「第19回社会教育研究全国集会報告—(第2分科会)人権・差別と社会教育」(『月刊社会教育』二七〇号、11月)
泉佐野市・市教育委員会・市人権擁護委員会「しあわせ⑥」(同上、11月)
- 仙田 実「民主教育へのとりくみ—町民総学習体制の確立を求めて」(『部落問題—調査と研究』二八号、12月)
吉川 徹「社会同和教育十年の自己批判」(『月刊社会教育』二七二号、12月)
- 部落解放研究所編「演習・広報紙づくり」(社会啓発入門4)『解放出版社、12月』
(『解放出版社、12月』)
- 大阪市「みんなで考えよう—人権問題の現状と課題」(同上、12月)
- 北九州同和对策推進協議会「よあけ(同和教育研修資料7)」(同上、12月)
- 東京都荒川区教育委員会「幸せをすべての人に—同和教育研修資料(第六集)」(同上、1979年3月)
訪宅実談の記録編集委員会「部落解放をめざす訪宅実談の記録」(同上、7月)
- (兵庫部落問題研究所、11月)
村井弦斎「川崎大尉」(部落問題文芸作品選集第48巻)(『世界文庫、11月』)
- 部落に伝わる昔話を記録する会「部落の語り伝え—火の玉のはなし」(すみか書房、11月)
- 川元祥一「虚構の陽(連載小説第七回)」(『部落解放』一四二号、12月)
平野一郎「(本の紹介)松崎武俊作『菜の花』『牛のかたき打ち』」(同右)
- 村橋 端「(動向)研究・新しい文化の創造へ—第17回部落問題研究者全国集会」文化「分科会」(『部落』三八六号、12月)
▲部落の民謡をたずねて7▽(同右)
橋本正樹「ルポ・長浜市千草町」
石田隆恒「ルポ・愛知郡愛知川町山川原」
右田伊佐雄・森本圭子「伝承記録」
林 保雄「再創造」
- 紅野謙介「野間宏『青年の環』—戦後の時間と拮抗する持続力」(『流動』一一巻一三三号、12月)
いいたもも「この頂つづく—天皇制・部落・朝鮮人」(『新日本文学』三八八号、12月)
土方 鉄「中野さんの『差別語論』」(同右)
邦枝完二「首斬浅右衛門」(部落問題文芸作品選集第四七巻)(『世界文庫、12月』)
- 山田 晃「藤村と仏教・試論—『破戒』における仏・基一教の共鳴」
- (シナリオ)「さまざまの声による構成詩・解放へのオガリー部落解放第一回全国文化祭『たたかいの祭り』より」
(『部落解放』一四〇号、10月)
- 岩井好子「記録映画『小諸なる古城のほとり』—小諸市荒堀夜明けし念仏由来を撮影しおわって」(同右)
- 川元祥一「虚構の陽(連載小説第五回)」(同右)
▲部落の民謡をたずねて5▽(『部落』三八四号、10月)
橋本正樹「ルポ▽近江八幡市・八幡町」
右田伊佐雄「伝承記録」
さのよしひこ「再創造」
- (伝承)山田敦一「(うたのページ)にかわたり唄」(『部落解放』一四二号、11月)
- 川元祥一「虚構の陽(連載小説第六回)」(同右)
乙骨淑子「創作・ガラスの眼」(『解放教育』一一五号、11月)
菅野照代「(本棚)峠の道—部落に生きて」(『部落』三八五号、11月)
- ▲部落の民謡をたずねて6▽(同右)
橋本正樹「ルポ▽近江八幡市・末広町」
右田伊佐雄・中西富久美「伝承記録」
林 保雄「再創造」
- 土方 鉄「差別的構造と差別意識」(『波』一一九号、11月)
九岡忠雄「詩集ふるさと」(市民学習シリーズ7)
- (『文学』四七巻五号、1979年5月)
松崎武俊「部落の語り伝え—菜の花」
(福岡部落史研究会、1979年9月)
松崎武俊「部落の語り伝え—牛のかたき打ち」(同右)
第31回全同教研究大会前夜祭企画委員会「(構成劇)夕日は美しくかった」(福岡県同和教育研究協議会、1979年)
- 【通史】
- 四国部落史研究協議会「各地の研究会の活動から③」
(『部落解放研究』一九号、10月)
吉田卓司「(本の紹介)四国部落史研究協議会報『しこく』」(『部落解放』一四〇号、10月)
- 東 栄威「高橋くら子と長野県水平運動の創立期—小諸高女生時代を中心に」高橋くら子論をめぐる余聞」(伊藤千代子の死)所収、未来社、10月)
(『解放新聞』三七九号、10月)
- 松本常一「村もめの苦い思い出—トタン学校—で同盟休校—この人に聞く②」(同右)
- 師岡佑行「出作、小作とリュウブ、ミノノ—丹波木崎での聞書①」(『京都部落史研究所報』二二二号、10月)
仲尾俊博「被差別カーストと仏教⑤」
(『月刊滋賀の部落』四四号、10月)

- 堀口牧子「丹後調査報告(1)はじめに―貧困の中での差別」(『京都部落史研究所報』二三号、11月)
- 長尾真砂子「丹後調査報告(2)国分―牛の角はお西さんへ」(同右)
- 仲尾俊博「被差別カーストと仏教」(『滋賀の部落』四五号、11月)
- 土方 鉄「解放歌の作詞者柴田啓蔵さんに聞く」(『解放新聞』九四四号、11月)
- 吉川綱三、竹中文治、「いのちがけの糾弾闘争も―この人に聞く」(『解放新聞』大阪版三八三三号、11月)
- 盛田嘉徳「あの人この人」(同右)
- 朝田善之助「(新版)差別と闘いつづけて」(朝日選書145)(朝日新聞社、11月)
- 木村京太郎「道ひとすじ」(部落問題研究所出版部、11月)
- 山本音市先生を偲ぶ会「一粒の麦の誇り―山本音市・その教育と生涯」(姫路市同和教育研究協議会、11月)
- 原田伴彦「宗教と部落問題(上)」(『部落解放』一四二号、12月)
- 仲尾俊博「施陀羅と部落問題(八)」(『部落解放史』ふくおか一八号、12月)
- 長野真砂子・堀口牧子「丹後調査報告(3)杉の木―水平社が精神的支柱に」(『京都部落史研究所報』二四号、12月)
- 仲尾俊博「被差別カーストと仏教」(『滋賀の部落』四六号、12月)
- よこいぎよし「部落史研究」と「私」(『人間雑誌』創刊号、12月)
- 松崎武俊「皮工・孫左衛門」
- 松下志朗「薩摩藩の被差別部落について」
- 北川 健「近世後期長州藩の賤民外延の拡大と後退―文政期山口・穢多之事書集」の歴史的位相」
- 荒井貢次郎「東日本・長吏頭・弾左衛門矢野氏の墓制考証」
- 中西和久「博多芸人横丁(一)―博多寺中」考」
- 松下志朗「(資料紹介)部落史法令―幕府法を中心に(1)」(同右)
- 塚田 孝「(動向)研究・近世社会における非人組織の機能及び非人身分と他諸身分との社会関係について」(『部落』三八五号、11月)
- 落合重信「福井庄と福井部落―荘園名を名乗る部落」(『部落問題論究』四号、11月)
- 八木晃介「(読書)盛田嘉徳、岡本良一、森杉夫著『ある被差別部落の歴史』」(『ニコノミスト』二二二七号、11月)
- 荒井貢次郎「近世被差別社会の研究―東日本の類型構造」(明石書店、11月)
- 滋賀県同和教育研究所「倉園神社八木山氏子入願一件記」に関する古文書研究」(部落史資料第三輯)(同上、11月)
- 生瀬克己「(本の紹介)『ある被差別部落の歴史―和泉国南王子村』」(『部落解放』一四二号、12月)
- 松崎武俊「(提言)『貧困と差別』の歴史から『生産と労働』の歴史へ」(『部落解放史』ふくおか一八号、12月)
- 松下志朗「久留米藩の被差別部落について」(同右)
- 原田 貢「豊前の農民収奪と部落解放史」(同右)
- 土方 鉄(聞きて)「闘士不老」そのものの米田富さん」(『解放新聞』九四八号、12月)
- 盛田嘉徳「あの人この人」(『解放新聞』大阪版三八七号、12月)
- 中田善政「線香の火」をやしつづけて―この人に聞く」(同右)
- 飯田富一講演集編集委員会編「なんで生んだんじゃ―部落民のたたかい」(滋賀県同和教育研究所、12月)
- 真宗大谷派同和推進本部編「身同(同和)研究紀要」一、二号(真宗大谷派宗務所、12月)
- 藤元正樹(聞き手)「野間宏氏に聞く―部落差別の問題について」(『教化研究』八四号、真宗大谷派宗務所、1979年6月)
- 尾崎勇喜・杉尾敏明「気骨の人・山本利平」(文理閣、1979年6月)

【近代】

- 生瀬克己「(本の紹介)部落解放研究所編『近世部落の史的研究』上・下」(『部落解放』一四〇号、10月)
- 多田茂治「筑前江川谷―竹槍一揆から秋月の乱まで」(葦書房、10月)
- 北九州部落解放史編纂委員会編「米津三郎氏講演記録―小倉藩の差別政策」(北九州同和对策推進協議会、10月)
- ▲特集▽九州における近世部落解放史(1)」(『部落解放史』ふくおか一七号、11月)
- 大塚正文「近世における肥後の被差別部落」(同右)
- 藤本清二郎「一九七八年前近代部落史研究の成果と課題」(『部落問題研究』六二号、12月)
- 大森久雄・人見彰彦「柴田一 備作地方の被差別部落の展開」批判」(『部落問題―調査と研究』二八号、12月)
- 原田伴彦「(批判と紹介)『ある被差別部落の歴史―和泉国南王子村』」(『朝日ジャーナル』一〇八七号、12月)
- 関原祐一「筑前竹槍一揆の歴史的基盤」(『九州史学』六五号、1979年3月)
- 南王子村文書刊行会「大阪府南王子村文書」第4巻(部落解放研究所、1979年3月)
- かつらぎ町同和教育教材作成委員会「部落の歴史(前近代)」(かつらぎ町、1979年3月)
- 三好昭一郎「香川県近世部落編年史料―部落史学習の素材として」(『四国学院大学論集』四四号、1979年7月)
- 網野善彦「中世身分制の一考察―中世前期の非人を中心に」(『歴史と地理』二八九号、1979年9月)

【現代】

- 佐和慶太郎「いばらと鎖からの解放―東京における部落解放運動史の発展のために」(『部落解放研究』一九号、10月)
- 窪田享信「戦前における同和地区隣保事業の歴史(上)」(同右)
- 歴史・理論部門事務局「最近の近代部落史研究の論争点」(同右)
- 秋定嘉和「日本資本主義と部落問題について」(同右)

- 永末十四雄「筑豊石炭鉱業と部落問題」(同右)
- 山田敏男、「(本棚)部落問題研究所編『資料戦後部落解放運動史』」(『部落』三八四号、10月)
- 馬原鉄男「講座・部落の歴史②―戦時体制と水平運動」(同右)
- 谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史のために①」(『月刊滋賀の部落』四四号、10月)
- 部落問題研究所編『戦後部落解放運動の研究』
- (戦後部落問題の研究第七卷)(同上、10月)
- 柴田啓蔵「解放運動史余話(その十一)―水平社創立の人々(1)」(『部落解放史ふくおか』一七号、11月)
- 松本吉之助「柴田啓蔵君に反論す」(同右)
- 田中直樹「九州社会運動史料(1)―『東洋タイムス』主要記事目録(1)」(同右)
- 松浦国弘「部落問題と鳴海小作爭議―井上清『部落問題の研究』への若干の疑問」(『愛知学院大学論叢』二七卷二号、11月)
- 谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史のために②」(『月刊滋賀の部落』四五号、11月)
- 西田秀秋「近代民衆の記録(9)―部落民」(『新人物往来社』11月)
- 柴田啓蔵「水平社創立の人々(2)」
- (『部落解放史ふくおか』一八号、12月)
- 尾川昌法「近代部落史研究の成果と課題」
- (『部落問題研究』六二号、12月)
- 寺田政幸「兵庫における戦後部落解放運動のあゆみ②―自衛隊差別糾弾闘争」(『月刊部落問題』三七号、12月)
- 小林末夫「『明治天皇の仁慈』のしめくくりとして⑥―部落問題と天皇制(その1)」
- (『部落問題―調査と研究』二八号、12月)
- 大林秀弥「寄生地主制と部落差別」(同右)
- 谷口勝己「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史のために③」(『滋賀の部落』四六号、12月)
- 角南俊輔「水平社と反軍闘争」(『軍事民論』一八号、12月)
- 部落解放同盟広島県連合会「県連再建十年史年表(草稿)」
- (同上、12月)
- 龍谷大学同和问题研究委員会「和歌山県有田郡吉備町調査報告(1)―新生社運動資料紹介」(同上、1979年5月)